磐余風致保全方針

１ 地区の概況

竜門山地から続く緩い山麓台地の上に、農地及び農村集落が点在している。豊かな樹林地とそれらを背景とした農村集落のつくる風致景観を維持するとともに、周辺の田園地帯に広がる新しい住宅等の建設においても、背景の緑地との調和を図るものとする。

２ 地区の風致特性

（１）風致構成要素

自然保全型

（２）ランドマーク

遠景：丘稜

（３）主な視点場

飛鳥寺周辺、浄御原宮跡、市道倉橋山田２号線

３ 地区の維持・創出すべき風致の内容

（１）維持・保全すべき要素

・丘陵の緑地（遠景）
・山裾の集落の屋根並み（遠景）

（２）育成すべき要素

・緑地との調和（色彩等）

４ ゾーンごとの建築物等の修景に関する方針

○ゾーン３（維持・保全区域）

【概　況】

・　丘陵の稜線を形成する樹林地であり、緩やかな丘陵の遠景を形成している。
・　緑の多い丘陵斜面のイメージを保全するため、稜線等全体景観の保全が必要である。

【方　針】

・　丘陵の稜線上及び稜線を超える建築物、工作物の設置は避ける。
・　屋根、塔屋等シルエットを形成するものは、斜面に調和する勾配のある形状とする。また、屋根、外壁等の色彩については、周辺の樹林地と調和するものとし、樹林地の中で目立たないように配慮する。
・　工作物についても、樹林地の中で目立たない色彩とする。
・　緑地を極力残置し、敷地内の緑化を促進する。特に、建築物、工作物の周辺の緑化を図る。

○ゾーン４（維持・保全区域）

【概　況】

・　丘陵の麓に広がる農地等であり、集落の背後の緑地景観を形成している。
・緑の多い丘陵地のイメージの保全への配慮が必要である。

【方　針】

・　建築物、工作物は、背景となる緑地に調和する色彩とする。
・　建築物は、その屋根形状、色彩等が斜面緑地に調和するものとする。
・　敷地内の緑地の残置、緑化の促進を図る。特に、建築物、工作物の周辺の緑化を

図る。

○ゾーン７（維持・保全区域）

【概　況】

・　主に丘陵の麓の旧集落であり、統一感のある屋根並みを見せている。
・　現在の屋根並みの統一感や緑地との調和を保全することが課題である。

【方　針】

・　建築物については、形態、色彩が既存のまちなみや、周辺の緑地に調和するものとし、緑地を背景としたまちなみの統一感の維持を図る。
・　工作物についても、背景となる緑地に調和する色彩とする。
・　敷地内の緑地の保全、緑化の促進を図る。

○ゾーン９（育成区域）

【概　況】

・　丘陵の中の教育施設のあるゾーンである。
・　風致地区に相応しい公共施設として、周辺の緑地や集落に調和するものとする。

【方　針】

・　建築物、工作物については、周辺の緑地や集落と調和するような色彩とする。
・　建築物周辺の敷地が大きく、全体景観への視覚的影響も大きいため、敷地内の緑地の保全、緑化の促進を図る。特に、道路面には中高木を配置する。